

製品安全データシート

TEBAC

作成 : 2020/5/14
改訂 : 2022/9/12

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称 TRIETHYL BENZYL AMMONIUM CHLORIDE
会社名 Volant Chem CORP
住所 109, No.2 Suzhou Road, Tianjin 300203
電話番号 +86-22-23251245
FAX番号 +86-22-23289741

販売代理店 サンケミカル株式会社
住所: 東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング
電話番号 03-3661-6681
FAX 03-3661-7055
メールアドレス yano@sun-chemical.co.jp
HP <http://www.sun-chemical.co.jp/>

用途

触媒

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類
Regulation (EC) No 1272/2008の分類

健康に対する有害性:

皮膚腐食性・刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分3

EU Directive 67/548/EEC もしくは 1999/45/ECによる分類

Xi Irritant

R36 眼に刺激性がある。
R37 呼吸器系に刺激性がある。
R38 皮膚に刺激性がある。

● GHSのラベル要素

● 絵表示又はシンボル



● 注意喚起語

警告

● 危険有害性情報

Xi Irritant

R36 眼に刺激性がある。
R37 呼吸器系に刺激性がある。
R38 皮膚に刺激性がある。

危険情報

H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H335 呼吸器への刺激のおそれ

予防情報

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。

● 注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。

【応急措置】

いずれの場合も医師の診断を受けること。そして、MSDSを持参すること。

吸入した場合：新鮮な空気の場所に移動すること。呼吸が止まった場合、人工呼吸を施
皮膚に付着した場合：水と石けんで洗い流すこと。
眼に入った場合：十分な水で15分間洗い流すこと。

飲み込んだ場合：意識不明の患者の口に何も与えないこと。口をゆすぐこと。

【保管】 乾燥して、換気の良い涼しい場所に密閉して保管すること。

【廃棄】 本製品の破棄は産業廃棄物業者に依頼すること。

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分からない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、 分類対象外になる。

項目3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名
別名

塩化ベンジルトリエチルアンモニウム
Benzyltriethylammonium chloride
塩化トリエチルベンジルアンモニウム

化学特性

CAS番号

56-37-1

成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)

100%

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

化審法

既存1-215, 既存3-2694

安衛法

4-(2)-149

▲ 項目4 応急処置

いずれの場合も医師の診断を受けること。そして、MSDSを持参すること。

吸引した場合 新鮮な空気の場所に移動すること。呼吸が止まった場合、人工呼吸を施すこと。

皮膚に付着した場合 水と石けんで洗い流すこと。

眼に入った場合 十分な水で15分間洗い流すこと。

飲み込んだ場合 意識不明の患者の口に何も与えないこと。口をゆすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

詳細な徴候及び症状は、項目11—有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護
医師に対する特別な注意事項

データ無し
データ無し

項目5 火災時の措置
消火剤

水噴霧、耐アルコール泡、炭酸ガス、粉末

火災時の措置に関する
特有の危険有害性

二酸化炭素、酸化窒素、塩素水素ガスが発生する。

消火を行う者の保護

必要であれば、消火活動時に、呼吸機器を身に着けること。

特有の消火方法

データ無し

項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

保護具を使用すること。
ダストを避けること。ダスト、蒸気、ミスト、ガスを吸引しないこと。
十分な換気を行う事。無関係の職員を安全な場所に避難させること。

環境に対する注意事項

環境に漏出させないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ダストを出さないように、廃棄分を拾い、処分すること。
汚染した箇所を綺麗に拭いて、廃棄分を拾い、密閉した容器にしまうこと。

二次災害の防止策

データ無し

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
(局所排気、全体換気)

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、
保護具を着用する。
「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱注意事項

皮膚と目に接触しないようにすること。

接触回避
衛生対策

「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

安全な保管条件

乾燥して、換気の良い涼しい場所に密閉して保管すること。

安全な保管保管包装材料

元の容器

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

許容濃度

日本産業衛生学会(2005 年版)
ACGIH(2005 年)

データ無し
データ無し

設備対策	工業衛生と安全慣習に従って取り扱うこと。
保護具	
呼吸用保護具	呼吸器の保護具を使用すること。 高濃度曝露の際、P95(US)、またはP1(EU EN143)タイプの 粒子避けの人口呼吸器を使用して下さい。 本推奨は助言であり、本製品の使用状況を吟味し、 衛生管理者と安全管理者の推奨方法に従う事。 この保護具の推奨はあらゆる状況に対処しているものではありません。
手の保護具	手の保護具を使用すること。使用前に必ず検査すること。 保護具の汚れは適切なリムーバーで行ってください。 表面をこすって汚れを落とさないに。
眼の保護具	サイドシールド(眼鏡の側面にもガラスの保護が有るもの) 付きの眼の保護具を使用すること。 権威機関の認定又は、推奨のものが望ましい。 アメリカではNIOSH基準、ヨーロッパではEN基準の眼の保護具。
皮膚及び身体の保護具	浸透性のない保護具を着用して下さい。 職場での危険物質の曝露濃度と危険物質を考慮の上、 保護具を選択して下さい。
特別な注意事項	食事の前と仕事の後に手を洗うこと。

項目9 物理的及び化学的性質

物理的状态	個体
色	白色
臭い	データなし
臭いのしきい値	データなし
融点・凝固点	190～192℃
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データなし
引火点	275℃ 密閉式
自然発火温度	データなし
分解温度	
pH	pH 6,0 – 8,0 at 100 g/l at 20 ° C
動粘性率	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数(Log値)	データなし
蒸気圧	データなし
比重(相対密度)	データなし
蒸気密度	データなし
その他データ	

● 項目10 安定性及び反応性

反応性	
化学的安定性	データ無し
危険有害反応可能性	データ無し
避けるべき条件 (静電放電、衝撃、振動など)	データ無し

混触危険物質
危険有害な分解生成物
その他

強酸剤

★ 項目11 有害情報

急性毒性	LD50 Oral - rat - 2.219 mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データ無し
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	データ無し
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ無し
生殖細胞変異性	データ無し
発がん性	IARCで指定の物質は含有していない。
生殖毒性	データ無し
特定標的臓器毒性、単回曝露	呼吸器に刺激を引き起こすおそれ
特定標的臓器毒性、反復曝露	データ無し
誤嚥有害性	データ無し
その他	

項目12 環境毒性情報

生態毒性	fish LC50 - Pimephales promelas (fathead minnow) - 161 mg/l - 96 h
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	データなし

▲ 項目13 破棄上の注意

残余廃棄物	本製品の破棄は産業廃棄物業者に依頼すること。 アフターバーナーとスクラバーを備えた化学用の焼却炉で 分解、または可燃物質と混ぜて燃やすこと。
-------	--

項目14 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	非該当
品名(国連輸送名)	非該当
国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	非該当
容器等級 海洋汚染物質 (該当・非該当)	非該当
MARPOLによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)	非該当
国内規制 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	データなし

項目15 適用法令

法令の名称を含む関係法令情報	
毒劇法	該当なし
消防法	該当なし

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報

引用文献

オリジナルMSDS
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE

その他

記載内容の問い合わせ先

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実用性を対象としたものです。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能なら記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くても良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目 (但し、ラベルに全て載せる必要はない)